



みやぎ“アイスる”プロジェクトとは？

課題

宮城県は食材が豊富すぎるあまり、隠れた特産品に目が見えない



仮説

“ジェラート”を通して隠れた食資源の魅力を県内外の人々に伝えていけるのではないかと



目的

宮城県内の全35自治体を調査することで新たな魅力を発見する



研究室と連携体制



7月

中旬 資源に関する事前調査
下旬 アンケート作成



スケジュール

試作までの道のり



8月

上旬 自治体への電話掛け
中旬 アンケート送付
アンケート収集
下旬 データ分析



9月

上旬-中旬 5自治体へのヒアリング
材料の選定作業
下旬 試作
プチ試食会



ヒアリング調査の設問

【ヒアリングシートの主な設問項目】

- ・ その食材の一次加工の状態について
(ジェラートの材料とするためには、一次加工されている状態が望ましいから)
 - ・ その食材が一次加工されている製品はあるか
 - ・ 一次加工されている製品の価格について
 - ・ 一次加工を行っている業者について
- ・ その食材の生産時期について
- ・ 商品化するとした場合に、
どの程度の食材を確保していただけるか
- ・ その食材を材料としたアイス、ジェラートの生産状況

*ヒアリング調査実施時に質問内容の変更、追加も行った。

-ヒアリング内容-

1.加美町

- ・ うんだっぺろ(熟らした柿)

2.気仙沼市

- ・ ブルーベリー・いちご・大唐桑・
- ・ コーヒー

3.山元町

- ・ ブルーベリー・いちじく・さつまいも

4.美里町

- ・ 梨

5.大和町

- ・ そば



自治体調査アンケートについて

宮城県内の「隠れた食資源」が材料となった地域資源ジェラートの開発に向けて、宮城県内の「隠れた食資源」を調査し、ジェラートの材料を選定するために、「地域資源ジェラートの開発に向けた自治体調査」を実施した。

これまで、当研究室では、塩釜市の藻塩、石巻市の煎茶、柴田町のゆず、角田市・丸森町の牛乳のジェラートを製作した。そのため、当初は、以前当研究室でジェラートを製作した5自治体以外の県内30自治体を対象にした調査を本プロジェクトの調査内容と計画していた。しかし、今回のプロジェクトでは、角田市と丸森町の地域資源を再調査することにした。また、仙台市は区ごとに分かれているという点によって調査が難しいと判断したため、今回の調査の対象から除外した。

アンケート調査の概要

| | | |
|---------|--|---|
| 調査票発送日 | 2022年8月22日 注1) | |
| 調査対象 | 仙台市、石巻市、塩釜市、柴田町を除く、宮城県内全自治体（31自治体）の各自治体で回答を担当してくださる部署 | |
| 調査票配布方法 | 電子メール | 注1) |
| 回答の回収方法 | 電子メール | 22日に送信したが送信エラーのため正常に送信できなかった自治体へは24日に改めて送信した。 |
| 調査期間 | 2022年8月22日～2022年9月12日 注2) | 注2) |
| 調査票配布数 | 31自治体 | 2022年9月2日が締め切り日で、当初は調査期間が2022年8月22日～2022年9月2日であったが、回答の締め切り日を過ぎた後にいただいた回答も、9月12日までにいただいた回答であれば集計に含めたため、調査期間は2022年8月22日～2022年9月12日となった。 |
| 有効回答数 | 25自治体 | |
| 回収率 | 80.65% | |
| 調査票の構成 | <ul style="list-style-type: none"> ・回答者情報の記入欄（自治体名、部署名） ・設問 ・参考情報の添付欄 | |

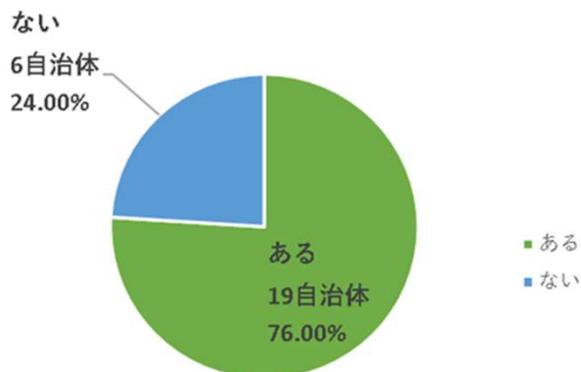
アンケートの設問

| 設問番号 | 設問文 | 回答形式 | 回答対象者 |
|-------|--|---|-----------------------------------|
| 【1-1】 | 貴市町村には魅力はあるが、活用できていない地域資源はありますか。 | 選択式 「1. ある」/「2. ない」、 単数回答 | 全自治体 (宮城県内31自治体) |
| 【1-2】 | 設問1-1で「ある」と回答していただいた方は、以下の欄内の回答もお願いいたします。 (10個以内) (設問1-1の地域資源の詳細についての質問) | 自由記述式(地域資源の名称、生産地または加工場所、地域資源の特徴を自由記述式で回答)、 複数回答可(10個以内) | 設問1-1で「ある」と回答した自治体 |
| 【2-1】 | 設問1-2の食材で、ジェラートに活用できる食材はありますか。 | 選択式 「1. ある」/「2. ない」、 単数回答 | 設問1-1で「ある」と回答した自治体で、設問1-2を回答した自治体 |

アンケートの設問

| | | | |
|-------|--|---|--------------------|
| 【2-2】 | 設問2-1で「ある」と回答していただいた方は、以下の欄内の回答もお願いいたします。 (3個以内) (設問1-2の食材で、ジェラートに活用できる食材の加工状況についての質問) | 自由記述式(食材の名称、生産地または加工場所、生産者、食材の加工場所、食材を加工して販売している商品の価格を自由記述式で回答)、 複数回答可(3個以内) | 設問2-1で「ある」と回答した自治体 |
| 【3-1】 | 宮城県の地域資源を活用したジェラートに興味・関心がありますか。 | 選択式 「1. ある」/「2. ない」、 単数回答 | 全自治体(宮城県内31自治体) |
| 【3-2】 | 設問3-1で「ある」と回答していただいた方は、地域資源の活用の際に重視するポイントについて教えてください。 (複数回答可) | 自由記述式、 複数回答 | 設問3-1で「ある」と回答した自治体 |

アンケート（設問1-1）の分析結果



魅力はあるが活用できていない地域資源がある自治体数は半数を大きく上回っているため、魅力ある地域資源を活用する方法の検討は宮城県内の多くの自治体で課題であることがわかる。

設問【1-1】の単純集計の結果
(N=25)

アンケート（設問1-2）の分析結果

回答していただいた地域資源を分類した。



魅力はあるが活用できていない食材は、主に、農作物、米、海産物、酒、畜産物、そば、味噌に分類されることがわかった。

アンケート（設問2-1）の分析結果



設問【2-1】の単純集計の結果
(N=19)

魅力はあるが、活用できていない地域資源の中では、ジェラートに活用できる食材が著しく多いことがわかる。よって、ジェラートの商品開発は、魅力はあるが活用できていない地域資源を活用する手法となる可能性が高いといえる。

注)

本設問は、設問【1-1】で「ある」と回答した自治体が回答する設問である。したがって、本設問の回答は22自治体からいただいたが、設問【2-1】は、設問【1-1】で「ある」と回答していない自治体による回答の3回答については本設問では無効回答として扱い、分析の対象に入れず、設問【1-1】で「ある」と回答している自治体である19自治体を対象に分析した。

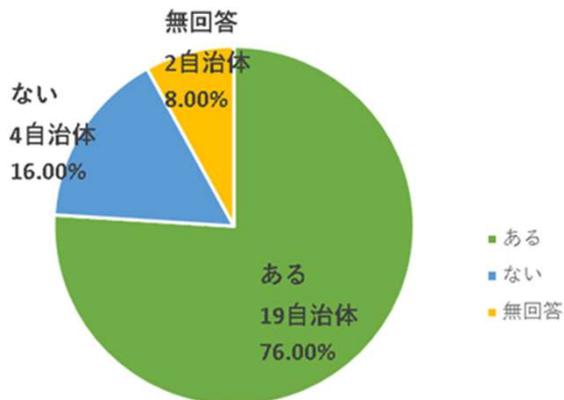
アンケート（設問2-2）の分析結果

回答していただいた地域資源を分類した。



魅力はあるが活用できていない食材の中でジェラートに活用できる食材は、主に、農作物、米、酒、そば、味噌に分類されることがわかった。

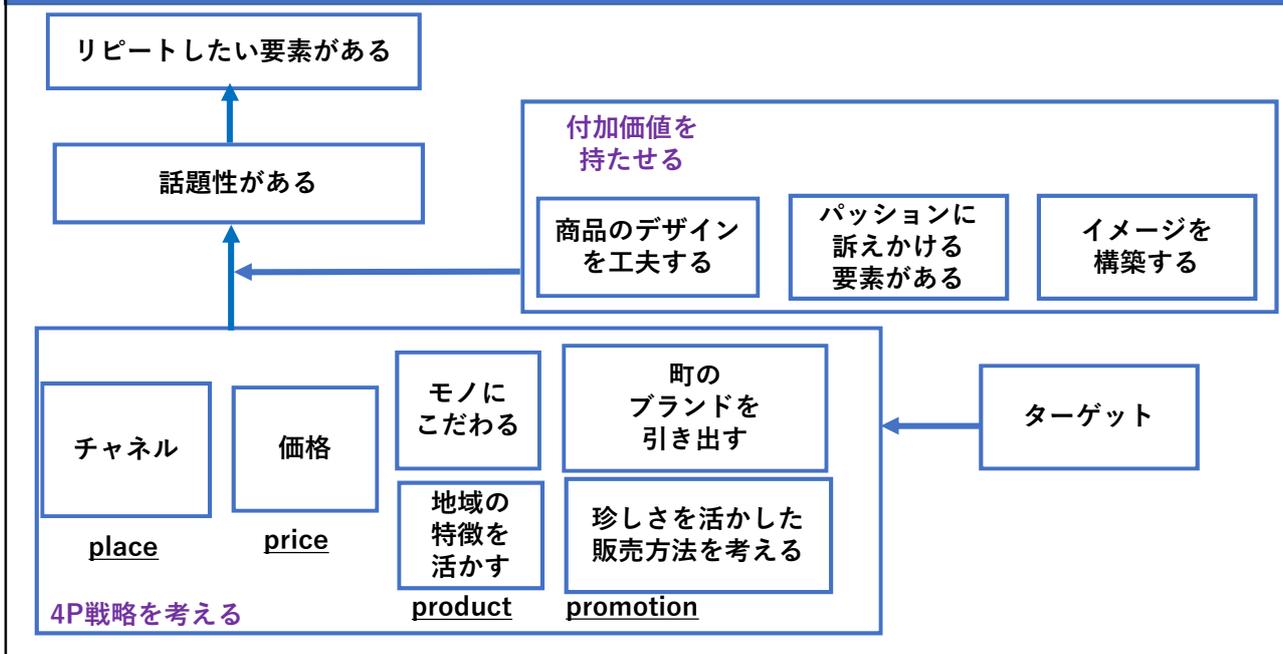
アンケート（設問3-1）の分析結果



宮城県の地域資源を活用したジェラートに興味・関心がある自治体は半数を上回っていることがわかった。

設問【3-1】の単純集計の結果
(N=25)

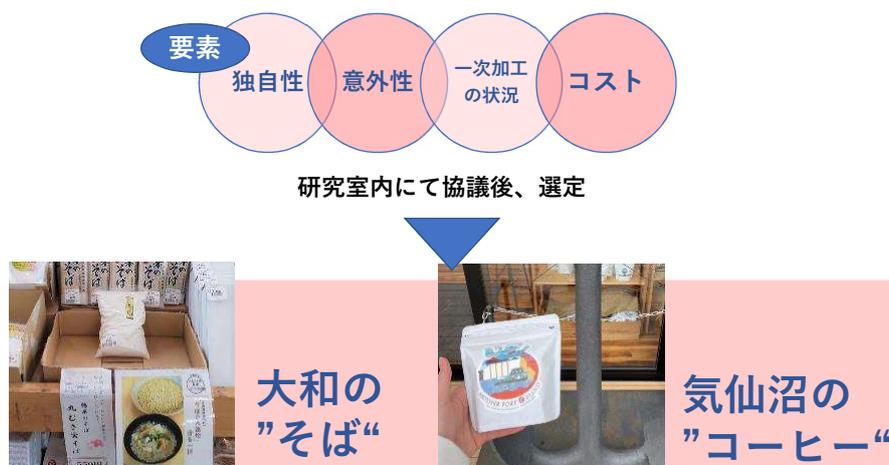
アンケート（設問3-2）のKJ法での分析結果



アンケート（設問3-2）のKJ法での分析結果

ターゲットを明確化し、4P戦略を考えること、
付加価値を持たせることによって
話題性を創り出して、
リピートしたい要素があることが、
自治体が地域資源を活用する際に重視するポイントである。

宮城大生が選んだ！魅力あふれる食材2選





Soba

- ・そばの実トッピングver.(右)
- ・そば粉クッキートッピングver.(左)

ジェラート自体にもそばの実を利用
そば特有の香ばしさが引き立つ

**コーヒーとそば
どんな味に
なったの？**

Coffee

- ・コーヒーソース付属ver.(手前2つ)
- ・アイリッシュver.(右から2つ目)
- ・マーブルver.(右)

大人から子どもまで楽しめるラインナップ

-今後の展望-



試食会

商品化の検討
(コーヒー・そば味)

販売
(店頭・オンライン・お中元)

